### (7)研究開発イメージ図

## THz帯遠隔イメージング技術の主な成果



#### A ポータブルなTHzカメラの研究開発

- ▶2次元THzアレイセンサの開発
- ▶THz透過材料の開発
- ▶画像処理技術の開発
- ▶ アクティブ・パッシブTHzカメラの開発

#### 🔁 B ポータブルなTHz固体光源の研究開発

- ▶波長可変レーザと機械式冷凍機の一体型光源の開発
- ▶外部共振器型分光光源の実現

### C 災害環境下THz分光による生命体データ取得の研究開発

- ▶THz分光測定装置 災害模擬環境 の開発
- ▶生命体等のTHz分光のデータ蓄積と特定方法の提案

#### A ポータブルなTHzセンサ・カメラの研究開発 (320x240画素) TIIz吸収膜(金属薄膜) 熱分離構造の改良



誘電体カパーの干渉効果による感度向上 波長97umのQCL光源に対し、約3倍の

新規構造(誘電体加一付)

明るい光学系の開発 入射光量:約1.5倍

(F/1 F/0.8)Lock-inサーモ手法による 1/f 雑音低減

による約1.3倍の感度向上

フレーム積分16回の場合、**約4** 倍の信号雑音比の向上

対策 ~ を合わせると、アクティブイメージングに おいて、昨年度の信号雑音比に比べ、最大で約20 倍改善できることが分った。

### B 波長可変P-Geレーザの開発

分光手段を提供する簡便な波長可変固体テラヘルツ波源

イメージャ評価、大気のテラヘルツ波伝搬特性把握に必須

機械式冷却によるp-Geレーザシステム、



反射鏡による半共焦点系共振器によ る軸性モート発振。ビーム指向性。.

ドの発振。ビーム指向性無し(昨年度)

(今年度)



ダクティブメッシュ、18μm ピッチ、 窓8 μm角 Si基板上アルミ薄膜) (右)凹面鏡 (曲率半径10cm)

p-Geロッド両端面 に鏡装着

機械式冷凍機への組み込み。 手前がレーザー光出射鏡

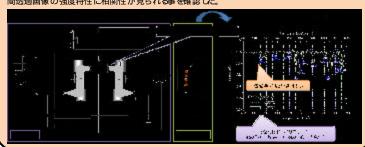
#### ○ 災害環境下テラヘルツ帯分光による生命体データ取得技術

感度向上を達成

黒煙 白煙など赤外線が透過しない災害模擬環境下におけるテラヘルツ波透過特性評価。 エアロゾル、水蒸気などを含む黒煙白煙下においても透過率の著しい低下は見られなかった。 特に従来のIRイメーシが撮像不可の黒煙環境下でのTHz波透過の成果は、火災環境下での本技 術の優位を示すものである。

生体関連材料の吸収特性及びTHz実時間透過画像測定。

タンパケ質の実時間透過画像の検出を確認した。また、時間領域分光法による吸収特性と実時 間透過画像の強度特性に相関性が見られる事を確認した。



# THz帯遠隔分光センシング技術の主な成果 その1

A: 伝搬路を模擬するシミュレータを用いた大気 減衰ロス・光学ロスの定量的把握

長距離THz波伝送の実現

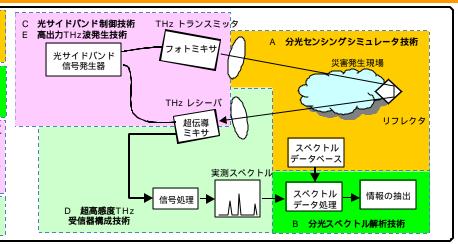
B:THzスペクトル解析技術の確立 スペクトルデータベースの構築

高速分光スペクトル解析の実現

C: <u>高速・低電圧駆動光位相変調器</u>作製技術の確立 光サイドバンド制御の実現

E:波長選択技術・広帯域フォトミキサ技術の確立 高出力THz波発生の実現

D:広帯域超伝導ミキサ設計・製作技術の確立 分光用超高感度・広帯域受信器の実現

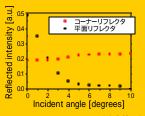


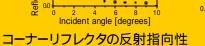
B 危険ガス検知のための解析アルゴリズムの設計

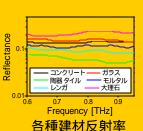
## A 建材を用いたコーナーリフレクタの検討

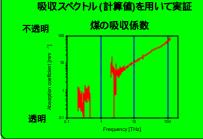
実際の火災現場において、建築物内部の角部をコーナーリフ レクタとして反射分光に用いることが想定される。

コーナーリフレクタの反射指向性およびサブTHz帯における 各種主な建材の反射率の調査を行った.







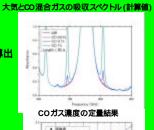


近 中赤外領域では不透明であるが, THz帯では透過率が高いことが判明

大気中のCO濃度を、吸収スペクトルから導出

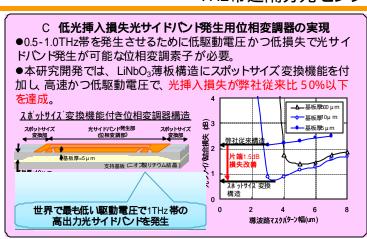
煤の透過特性を測定

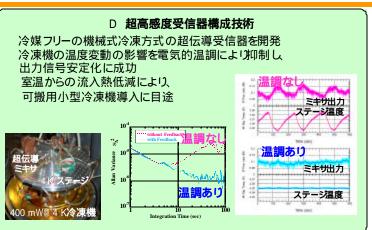
するアルゴリズムを開発



- 998 - - 720 HSV. - - 720 HSV.

# THz帯遠隔分光センシング技術の主な成果 その2





**周波数** (GHz)

